

主催 一般財団法人 素形材センター
公益社団法人 日本鋳造工学会関西支部

今後の鋳造業の技術継承、発展に寄与する実務技術者に求められる現場知識と幅広い工学的知識を有する技術・技能者を育成することを目的として、「素形材技術研修講座」を開催いたします。本講座は、正しい理論に裏付けされた技術の習得及び現場の諸問題に的確に対応し、現場をリードできる技術・技能者を育成するために、理論と実際をテーマに、現場の経験を講義の中に多く取り入れ、また、最新の情報を多く提供するものです。つきましては、必ずや明日からの業務に活かされるものと確信し、積極的なご参加をおすすめいたします。なお、本素形材技術研修講座は、日本鋳造協会と日本鋳造工学会が鋳造中核人材育成事業の一環として実施する「鋳造カレッジ」の受講資格のひとつとして位置づけられています。(2日間以上の受講が「鋳造カレッジ」受講資格となります。)今回ご案内する「鋳鉄の基礎と応用」は、**比較的経験の浅い現場技術者を対象**に開催するものです。また、1日単位でも受講可能です。(8月7日のみは受講不可)

鋳造技術シリーズ3
「新版 鋳鉄の生産技術」
を教本として使用します。

■日 時 オンライン研修講座 令和6年7月23日(火)、30日(火)、8月6日(火)
工場見学 虹技株式会社 令和6年8月7日(水)

■プログラム

コーディネーター 兵庫県立工業技術センター 次長(技術調整担当) 兼吉 高宏

●本講座の目的

本講座では、鋳鉄に関する基礎から応用として、鋳鉄の溶解技術から材料特性の基本、鋳造のための鋳型技術や鋳造方案および鋳造欠陥対策に至る幅広い内容を網羅しています。特にはじめに鋳造に携わる方々に対してわかりやすく基礎的な内容としておりますので、鋳造関連企業の新入社員の方や鋳造現場で活躍されようとしている方々、あるいは、既に現場で活躍されている方でも、改めて鋳造技術を基礎から再認識したい方にも役に立つ講座となっております。また、本講座では工場見学を行うこととしており、実際の鋳造現場を見学し、その企業の方々からもお話を聞くことができますので、皆様のご参加をお待ちしております。

令和6年7月23日(火)

第1部 鋳鉄の材質及び溶解の基礎

オリエンテーション ----- 9:20～9:30

総論 ----- 9:30～10:10

以降の各講義を理解しやすくするための導入講義として、鋳造の定義と歴史、原料地金の溶解から鋳造品の仕上げまでの工程の流れ、他の成形加工法と比した鋳造加工法の特徴、鋳造プロセスの分類と鋳造品の用途を中心に解説する。

近畿大学 理工学部機械工学科教授 工博 浅野和典

ねずみ鋳鉄の材質と用途 ----- 10:10～11:30

1. 鋳物の歴史 鋳物5千年の歴史といわれる。鋳物の歴史を考えてみる。
2. 鋳物の定義と鋳鉄の種類 学術的には鋳物の定義があり、JISで分類される。
3. 普通鋳鉄(ねずみ鋳鉄)の凝固組織 鋳鉄は独特な凝固形態による凝固組織の理解が非常に重要である。
4. 普通鋳鉄の化学成分・組織・機械的性質 化学成分及び凝固組織により機械的性質が決まる。
5. 普通鋳鉄の用途と鋳造業界の動向 普通鋳鉄の用途と鋳造業界の今後を考えてみる。

小西技術士事務所 代表 小西邦彦

球状・CV黒鉛鋳鉄、合金鋳鉄の材質と用途 ----- 11:40～12:20, 13:10～13:50

最初に球状黒鉛鋳鉄(FCD)及びCV黒鉛鋳鉄(FCV)の黒鉛形状と基体組織の特徴、溶湯の流動性及び引け性、主な物理的・機械的性質と用途例を解説する。次に合金鋳鉄について、特に耐熱性、耐摩耗性、耐食性などに及ぼす合金元素の影響や製造上の留意点、主要な合金鋳鉄の特性と用途を解説する。

元近畿大学理工学部 教授 工博 米田博幸

鋳鉄溶解の基礎 ----- 14:00～15:20

鋳造欠陥のない優れた鋳鉄を製造するためには、性状の良い鋳鉄溶湯を鋳型に鋳込む必要がある。鋳鉄が工業的に重要な特性を持っているのは黒鉛が存在するからである。本講では、鋳鉄溶湯の特性、C、Siなどの成分元素の役割と影響、接種や黒鉛球状化、不純物元素の除去方法など、黒鉛化し易い鋳鉄溶湯を造るための基礎事項を解説する。

元近畿大学理工学部 教授 工博 米田博幸

誘導炉溶解の実際 ----- 15:30～16:30

誘導炉は誘導加熱(IH)を利用して、金属の溶解や温度保持、昇温、成分調整などに用いられる装置である。本講では誘導加熱の原理や誘導炉の種類・特徴、エネルギー収支の考え方や省エネ対策事例について解説する。

富士電機(株) プロセスオートメーション事業部 工業電熱技術部 主席 植村 浩

令和6年7月30日(火)

第2部 鑄造方案・品質保証と管理・欠陥対策の基礎

鑄造方案の考え方 ----- 10:20～12:00

鑄造方案の作成に関する基本事項についての理解を目的とする。X線透過による映像を交えながら、湯流れ方案、押湯方案を主として解説する。さらに、方案検討に不可欠なツールとして、数値計算法を紹介し、基本的な考え方を解説する。

大阪産業大学 工学部交通機械工学科教授 工博 杉山 明

材質管理の基礎 ----- 13:00～14:40

JISとISO規格、SI単位、金属材料の材料試験に関する基本的な考え方とともに、鑄鉄品のJIS規格、材料試験方法と機械的性質、試験結果の解析方法、鑄鉄の特性を考慮した鑄造品の設計例などについて解説する。

近畿大学 理工学部機械工学科教授 工博 浅野和典

鑄造欠陥とその防止対策の考え方 ----- 14:50～16:00

鑄造法は、社会の基幹産業(自動車、機械・エネルギー、港湾・治水等など)を支える重要な基盤技術であり、品質の高い製品の安定供給は極めて重要です。「品質課題の中でも、欠陥の適切な掌握と抑制の実践」に焦点を絞り、具体事例も交えて解説する。

シニア教育士 元(株)クボタ 理事 素形材副事業本部長 和氣 慎

令和6年8月6日(火)

第3部 造型技術・仕上げの基礎

生型造型法 ----- 10:20～12:00

生型造型法は、ベントナイトなどの粘土を粘結材として使用し、最も安価な鑄造法である。この講義では、まず生砂の特性に及ぼす各組成の影響について説明し、次に生砂の管理項目や試験法について説明する。さらに、生砂の混練方法や混練度の評価方法に加えて、実務での検討結果についても解説する。

(株)クボタ マテリアル・キャスティングセンター 工博 王 麟

自硬性鑄型(無機系と有機系)と鑄型材料 ----- 13:00～14:40

砂鑄型の造型において、骨材(砂)同士の接着に使用する粘結剤(バインダー)は、鑄型の特性を大きく左右する重要な資材である。本講義では、自硬性鑄型の代表的な粘結剤であるフラン、アルカリフェノール、水ガラス(ダイカル法)について、それぞれの鑄型の特徴と注意すべきポイントを中心に解説する。

山川産業(株) 技術・開発部部长 川上 学

鑄仕上げの現状と動向 ----- 14:50～16:00

大銑産業(株) 鑄物本部技術部部长 永田功治

令和6年8月7日(水) 午後

第4部 工場見学

虹技株式会社 (大型鑄物工場、デンスバー工場)

※当日は12時30分に姫路駅よりバスで移動します。解散は姫路駅15時50分頃を予定しています。工場見学における服装は安全を考慮した服装をお願いします(短パン、サンダル履き等の軽装はご遠慮下さい。)

※状況によっては、プログラムの変更、開催を中止させていただく場合がございますのでご了承ください。

●参加要領

◇定員 40名（申込順に受け付け、定員になり次第締め切ります）

◇受講料 7月23日、30日、8月6日（1日につき）18,700円（消費税込）講師の資料を郵送いたします
8月7日 9,350円（消費税込）

素形材センター特別賛助会員、一般賛助会員及び日本鑄造工学会正会員・学生会員は50%割引。

8月7日のみの受講は不可。

※協賛会員の方へ：協賛会員の特典にセミナー・研修の割引はありません。ご理解をお願いいたします。

※開催前日まで受講取消のご連絡がなく、当日欠席されても受講料はお返しいたしません。

◇申込方法

下記申込書に所要事項記入の上、E-mailでお申込み下さい。

素形材センターホームページからもお申込み可能です。

<https://www.sokezai.or.jp/pages/113/> <https://www.sokezai.or.jp/pages/27/>

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館3階301号室

一般財団法人 素形材センター 企画部 E-mail kensyu@sokezai.or.jp 電話 03(3434)3907

◇参加費のお支払い

参加申込後、請求書を郵送いたします。

（領収書を必要とする場合は、申込書にその旨をご記入下さい。振込手数料はご負担願います。）

◇申込締切 令和6年7月11日（木）

◇注意事項

・Cisco Webex Meetingsを使用したオンライン研修講座です。研修講座参加のために、パソコンやタブレットなどの端末と、インターネット環境、メールアドレスが必要です。また、通信費は参加者負担になります。

・カメラ、マイク、スピーカーを備えたパソコンでの参加を推奨しています。

・研修講座の録音・録画等や、本研修講座のコンテンツ（研修講座参加のURL、パスワード等）を外部に流出させる行為は、固くお断りいたします。

・1名様につき1つのお申し込みとしてください。1社で複数名様をご参加の場合、それぞれお申込みください。

・映像や音声がかかる場合がございます。ご了承ください。

・参加者ご自身の機材に関するトラブル等のお問合せには、事務局は対応いたしかねます。

※その他注意事項につきましては、参加申し込み後にお送りするメールに記載させていただきます。

個人情報保護法に関する対応

ご記入頂いた個人情報は、本研修講座の事務に利用するとともに、参加者リストを作成し、講師に手交します。また、素形材センターの行う各種研修、セミナー、出版物、事業の案内状の送付に利用する予定です。今後、素形材センターが行う素形材産業の実情に関する調査アンケートへの協力依頼を行う場合もあります。

素形材技術研修講座「鋳鉄の基礎と応用」

申込日 令和 6年 月 日

会社名					
住所	〒				
電話番号			所属区分 該当に○印をつけて下さい		
E-mail			ア. 素形材センター特別賛助会員 イ. 素形材センター一般賛助会員 ウ. 日本鋳造工学会正会員(個人会員) エ. 日本鋳造工学会学生会員 オ. 上記いずれも該当せず (素形材センター協賛会員含む)		
受講者氏名	ふりがな				
所属・役職					
受講希望日	第1部	第2部	第3部	第4部	○を付けて下さい
鋳造関連業務 経験年数					
備考					

*メールマガジン 購読希望

素形材センターメールマガジン購読をご希望の方はチェックを入れてください。定期的に、事業の最新情報、募集案内、イベント情報、その他、官庁関連情報、業界情報などを無料で配信しています。